



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月10日

上場会社名 株式会社アーコア 上場取引所 名
 コード番号 3384 URL <https://arkcore.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 正渡 康弘
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 土屋 勉（TEL）03(5928)1537
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第1四半期の業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	2,361	16.9	275	22.4	273	22.8	181	22.6
2026年2月期第1四半期	2,019	24.8	225	△0.0	223	0.6	148	△2.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	99.83	—
2026年2月期第1四半期	82.10	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	3,140	1,759	56.0
2026年2月期	2,888	1,558	54.0

（参考）自己資本 2027年2月期第1四半期 1,759百万円 2026年2月期 1,558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,589	△9.1	239	△44.5	231	△45.8	160	△44.4	89.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年2月期1Q	1,970,000株	2026年2月期	1,970,000株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	136,349株	2026年2月期	163,688株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年2月期1Q	1,821,764株	2026年2月期1Q	1,806,312株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。2026年1—3月期の四半期別実質GDP成長率は、個人消費の持ち直しもあり、堅調さを維持しております。

企業収益は、底堅い内需と輸出の回復により概ね高い水準で推移しており、雇用情勢も完全失業率の低水準維持など良好な状態が続いております。一方で、国内における断続的な金利上昇局面への移行や、不安定な外国為替相場に伴う輸入物価の高騰、エネルギー価格の変動など、消費者物価は依然として高値圏にあります。加えて、緊迫化する中東情勢や世界的なインフレの長期化など、海外景気の下振れが国内景気に与えるリスクについては、引き続き注視が必要な状況となっております。

当社の事業セグメントは、バイク事業、フィットネス事業及びその他事業となっております。当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

バイク市場におきましては、春の需要期を迎え、国内バイクメーカー各社による新型モデルの投入が相次ぎました。若年層や女性ライダーの新規開拓に加え、リターンライダー向けの中大型モデルの拡充など、幅広い層で需要が喚起されたことにより、2026年年初からの新車販売台数は堅調に推移いたしました。また、海外メーカーについても、中排気量帯(400cc以下)の戦略的モデルの売れ行きが好調で、ユーザー層の裾野が拡大しております。

中古バイク市場においては、業者間オークション相場が前年度からの安定傾向を維持した一方、為替変動に伴う海外バイヤーの動向や国内の物価高騰による消費マインドの変化が仕入価格や販売価格に影響を及ぼす状況にあります。

このような環境下において、当社は、バイクを売却したいユーザーの満足度の向上と事業利益の最大化を両立させるために、データ分析に基づいた適正な買取価格の設定に注力し、買取成約率の維持と粗利単価の向上を並行して推進しております。

集客面におきましては、最需要期である当第1四半期に合わせ、WEB広告を中心とした戦略的な広告宣伝活動を強化いたしました。ユーザー層の変化に対応した効果的な媒体運用を行うことで、安定的な買取台数を確保いたしました。これらの施策により広告宣伝費については前年同期比で増加いたしました。

バイク事業の当第1四半期累計期間の業績は、売上高2,223百万円(前年同期比17.6%増)、セグメント利益268百万円(前年同期比31.1%増)となりました。

(フィットネス事業)

エンタimeフィットネスにおきましては、健康意識の高まりを背景に、新規入会者の獲得に向けたキャンペーンを実施し、利便性の向上を図るための設備投資を行っていることが影響し、全4店舗の月平均会員数は前年同期比9.3%増と堅調に推移しております。一方、ステップゴルフにおきましては、全2店舗の月平均会員数が前年同期比4.6%減と減少傾向にあります。

フィットネス事業の当第1四半期累計期間の業績は、売上高131百万円(前年同期比2.3%増)、セグメント利益22百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

(その他事業)

当社は、システム開発を主たる事業としていた株式会社プロトノーツを2026年4月に吸収合併し、新たにIT事業を開始いたしました。

IT事業の当第1四半期累計期間の業績は、売上高6百万円、セグメント損失14百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は売上高2,361百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益275百万円(前年同期比22.4%増)、経常利益273百万円(前年同期比22.8%増)、四半期純利益181百万円(前年同期比22.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末において総資産は3,140百万円となり、前事業年度末と比較して252百万円増加しました。主な要因としては、現金預金が325百万円増加し、商品が112百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末において負債は1,381百万円となり、前事業年度末と比較して51百万円増加しました。主な要因としては、未払法人税等が39百万円、未払消費税等が26百万円増加し、1年内償還予定の社債を含む社債が25百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末において純資産は1,759百万円となり、前事業年度末と比較して200百万円増加しております。主な要因としては四半期純利益181百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間末の現金及び現金同等物は1,971百万円（前年同期末は1,654百万円）となっております。当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は370百万円（前年同期は得られた資金116百万円）となりました。主な要因は、得られた資金としては税引前四半期純利益268百万円、棚卸資産の減少額112百万円、支出した資金としては法人税等の支払額41百万円、売上債権の増加額31百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は51百万円（前年同期は支出した資金28百万円）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出50百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は7百万円（前年同期は支出した資金94百万円）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出82百万円及び社債の償還による支出25百万円、長期借入れによる収入100百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月14日に公表いたしました2027年2月期の業績予想数値に対し、当第1四半期累計期間の業績の進捗状況は堅調であります。バイク事業においては四半期単位の業績変動幅が大きいこともあり、期末にかけて業績予想数値に収束していく可能性が高いと判断しているため、業績予想数値は変更いたしません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,661,779	1,987,087
売掛金	82,940	114,299
商品	783,453	670,833
貯蔵品	2,333	2,333
前払費用	21,616	25,348
その他	30,025	5,608
流動資産合計	2,582,150	2,805,510
固定資産		
有形固定資産	156,434	191,442
無形固定資産	15,378	18,912
投資その他の資産	134,421	124,877
固定資産合計	306,235	335,232
資産合計	2,888,385	3,140,742
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,302	34,206
1年内償還予定の社債	105,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	276,036	295,766
未払法人税等	49,353	88,824
賞与引当金	37,502	19,117
役員賞与引当金	20,000	—
その他	268,651	316,594
流動負債合計	780,844	844,508
固定負債		
社債	80,000	70,000
長期借入金	468,911	466,882
固定負債合計	548,911	536,882
負債合計	1,329,755	1,381,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	264,984	273,636
利益剰余金	1,121,964	1,303,822
自己株式	△61,144	△50,931
株主資本合計	1,558,630	1,759,352
純資産合計	1,558,630	1,759,352
負債純資産合計	2,888,385	3,140,742

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2025年3月1日 至2025年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2026年3月1日 至2026年5月31日)
売上高	2,019,767	2,361,287
売上原価	1,212,500	1,391,384
売上総利益	807,266	969,902
販売費及び一般管理費	581,885	693,985
営業利益	225,381	275,916
営業外収益		
受取利息	7	16
受取手数料	1,349	989
その他	63	338
営業外収益合計	1,421	1,344
営業外費用		
支払利息	3,006	2,956
社債利息	723	410
その他	—	38
営業外費用合計	3,730	3,405
経常利益	223,071	273,855
特別損失		
固定資産除却損	227	4,369
抱合せ株式消滅差損	—	1,250
特別損失合計	227	5,619
税引前四半期純利益	222,843	268,236
法人税、住民税及び事業税	62,983	82,372
法人税等調整額	11,560	4,005
法人税等合計	74,544	86,377
四半期純利益	148,299	181,858

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	222,843	268,236
減価償却費	12,692	13,387
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	—	1,250
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,242	△18,385
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40,000	△20,000
受取利息及び受取配当金	△7	△16
支払利息	3,006	2,956
社債利息	723	410
有形固定資産除却損	227	4,369
売上債権の増減額(△は増加)	△5,331	△31,358
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,254	112,620
仕入債務の増減額(△は減少)	15,071	9,903
のれん償却額	—	154
その他の流動資産の増減額(△は増加)	25,166	27,982
その他の流動負債の増減額(△は減少)	72,847	43,698
その他	△5,372	△99
小計	273,373	415,110
利息及び配当金の受取額	0	34
利息の支払額	△3,050	△3,236
法人税等の支払額	△153,889	△41,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,433	370,195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△450	△453
有形固定資産の取得による支出	△28,028	△50,745
差入保証金の回収による収入	—	3,008
貸付けによる支出	△430	△150
貸付金の回収による収入	—	90
その他の支出	—	△3,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,908	△51,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△48,933	△82,299
社債の償還による支出	△45,000	△25,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△602	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,535	△7,299
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,010	311,045
現金及び現金同等物の期首残高	1,661,100	1,646,775
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	13,807
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,654,089	1,971,628

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計(注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	1,891,538	128,229	2,019,767
セグメント利益	204,799	20,582	225,381

(注)「セグメント利益」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計(注)
	バイク事業	フィットネス事業	その他事業	
売上高	2,223,797	131,147	6,341	2,361,287
セグメント利益	268,426	22,092	△14,602	275,916

(注)「セグメント利益」は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。